

HSBC インド株式ファンド (3ヶ月決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	HSBC インド マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にインド共和国(「インド」)の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 S&P/IFC Investable India (円ベース) をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。	
主要運用対象	HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)	HSBC インド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC インド マザーファンド	主にインドの証券取引所に上場している株式等に投資します。
組入制限	HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)	株式への実質投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC インド マザーファンド	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年4回の決算時(毎年3月、6月、9月、12月の各10日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。原則として、毎決算時に安定した分配を行うことを目指します。加えて、毎年3月および9月の決算時には、基準価額水準等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配を行う場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設げず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書(全体版)

第69期 (決算日 2024年12月10日)

第70期 (決算日 2025年3月10日)

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)」は、2024年12月10日に第69期、2025年3月10日に第70期の決算を行いましたので、第69期・第70期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

«お問い合わせ先(投信営業本部)»

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時~午後5時)

ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額				S & P / I F C Investable India (円ベース) (ペンチマーク)	株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配分	みなし分配金	期中騰落率				
61期(2022年12月12日)	円 12,968	円 40	% △ 4.9		% △ 5.6	% 98.9	% —	百万円 3,914
62期(2023年3月10日)	12,183	40	△ 5.7	26,267	△ 6.7	99.1	—	3,719
63期(2023年6月12日)	13,137	40	8.2	28,680	9.2	98.6	—	4,155
64期(2023年9月11日)	14,541	280	12.8	33,345	16.3	98.1	—	4,619
65期(2023年12月11日)	14,990	290	5.1	35,111	5.3	100.8	—	5,071
66期(2024年3月11日)	16,600	330	12.9	39,401	12.2	97.3	—	6,196
67期(2024年6月10日)	17,867	350	9.7	44,776	13.6	99.2	—	7,386
68期(2024年9月10日)	17,383	340	△ 0.8	44,298	△ 1.1	97.0	—	7,497
69期(2024年12月10日)	17,662	350	3.6	45,629	3.0	101.7	—	7,564
70期(2025年3月10日)	13,719	280	△20.7	37,917	△16.9	105.0	—	5,797

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) ペンチマークは設定日を10,000として指数化しております。(以下同じ。)

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 当ファンドのマザーファンドの組入資産には、Participatory Note (P-Note) が含まれる場合があります。P-Noteとは、現地国での外貨投資制限を避けるために、非居住者に対してブローカー（銀行、証券会社等）が発行する未上場証券であり、金融商品取引法第2条第1項第19号に規定する有価証券「オプションを表示する証券または証書」に分類されます。また、P-Noteは、現地国の特定の株式の価格に連動するため、「株式組入比率」に含めて表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	S & P / I F C Investable India (円 ベ ー ス)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
			騰 落 率	(ベンチマーク) 謄 落 率		
第69期	(期 首) 2024年9月10日	円 17,383	% —	% 44,298	% —	% 97.0
	9月末	17,952	3.3	45,807	3.4	96.3
	10月末	17,969	3.4	45,731	3.2	97.7
	11月末	17,479	0.6	44,109	△ 0.4	97.0
	(期 末) 2024年12月10日	18,012	3.6	45,629	3.0	101.7
第70期	(期 首) 2024年12月10日	17,662	—	45,629	—	101.7
	12月末	17,397	△ 1.5	45,685	0.1	100.4
	2025年1月末	15,708	△11.1	41,641	△ 8.7	102.0
	2月末	14,237	△19.4	38,012	△16.7	102.3
	(期 末) 2025年3月10日	13,999	△20.7	37,917	△16.9	105.0

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

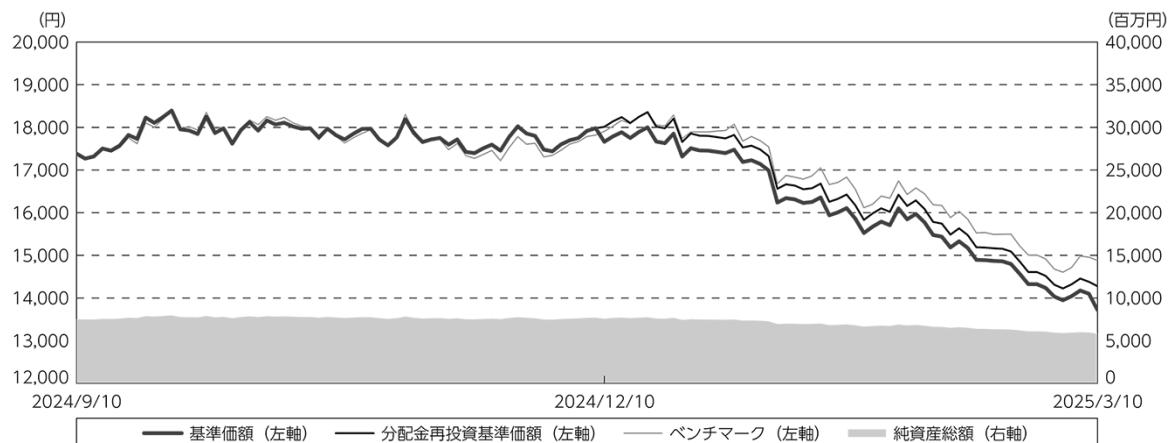
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

※S&P/IFC Investable Indiaとは、インドの非居住者がインド株式への投資を行うことを前提として、時価総額、流動性や非居住者に対する各種投資制限（個別株、業種等）等を考慮し算出された時価総額加重平均インデックスです。当ファンドのベンチマークとしては、同指數を委託者が円換算した数値を使用しております。

○当成期間の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について (第69期～第70期：2024年9月11日～2025年3月10日)



第69期首： 17,383円

第70期末： 13,719円 (既払分配金(税込み):630円)

騰落率：△ 17.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首(2024年9月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドのベンチマークは、S&P/IFC Investable India(円ベース)です。

基準価額の主な変動要因

当成期間においては、投資対象であるインドの株式市場が軟調な推移となり、基準価額の下落の主な要因となりました。当成期間のベンチマークのインドルピー建てでの騰落率は-13.4%でした。

個別銘柄では、組入上位に維持したエネルギーのリライアンス・インダストリーズの株価が16.4%の下落となり、ファンド全体には1.1%のマイナス寄与、不動産管理・開発のDLFの株価が22.6%下落し、ファンドには1.0%のマイナス寄与、また、ソフトウェア・サービスのインフォシスの株価が11.2%下落し、ファンドには0.8%のマイナス寄与となり、各々、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

【株式市況】

当作成期のインド株式市場では、SENSEX指数が前作成期末比で8.9%下落しました。株式市場は作成期初から2024年9月下旬にかけて米国の早期利下げ観測の高まりや国内投資家による買いにより堅調に推移しましたが、作成期末にかけては途中一進一退を経ながら下落基調に転じました。やや冴えない企業業績、割高なバリュエーション、外国人投資家の売りなどが下落要因となりました。

【為替相場】

当作成期のインドルピーは円に対して前作成期末比で1.2%下落しました。インドルピーの対円相場は作成期初から2024年11月中旬にかけて米国の長期金利上昇に伴う日米金利差拡大を受けた米ドル高・円安の流れを受けて途中上下に振れながらも上昇傾向となりました。その後、12月下旬にかけて一進一退の展開となったのち、作成期末にかけては日銀の追加利上げ、インドの利下げを背景に途中上下動の動きを見せながらも下落傾向となりました。

原則として、指数の騰落率は作成期首・作成期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は作成期首・作成期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

＜H S B C インド株式ファンド（3ヶ月決算型）＞

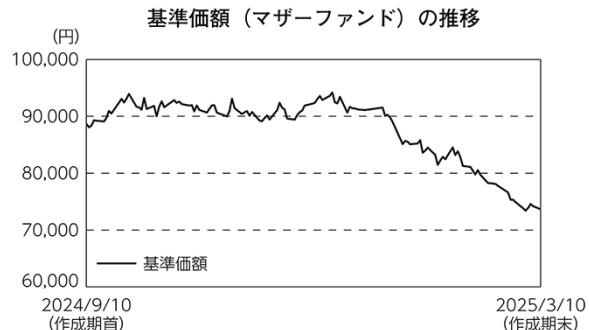
「H S B C インド マザーファンド」への投資を通じて、主にインドの株式等に投資しました。

＜H S B C インド マザーファンド＞

不動産、金融、ヘルスケアをオーバーウェイトとした一方、公益、資本財、素材をアンダーウェイトとしました。

不動産については、住宅価格の上昇が落ち着き、需給のバランスが改善すると考えられることなどから、最大のオーバーウェイトとしました。金融については、市場シェア拡大やデジタル化がみられる民間銀行に引き続き投資機会があると判断したことに加え、銀行以外の金融関連企業にも分散し、オーバーウェイトとしました。ヘルスケアにおいては、バリュエーションが以前より適正な水準となってきたことなどからオーバーウェイトとしました。

一方、公益では政府による規制により収益性の低下が否めないこと、また資本財では2024年の総選挙に伴い公共投資に進捗鈍化がみられたことや2025年度の予算案においてインフラ整備より消費拡大にやや重点を置いた内容であったこと、さらに素材ではリスクに見合う投資機会が見込めないことなどから、各々アンダーウェイトとしました。



ベンチマークとの差異について

当ファンドの当成期のベンチマークは14.4%の下落となりました。一方、基準価額は分配金再投資ベースで17.9%の下落となり、ベンチマークを3.5%下回りました。当成期の総経費率は6.0%でした。銘柄選択における主なプラス要因、マイナス要因は以下のようになります。

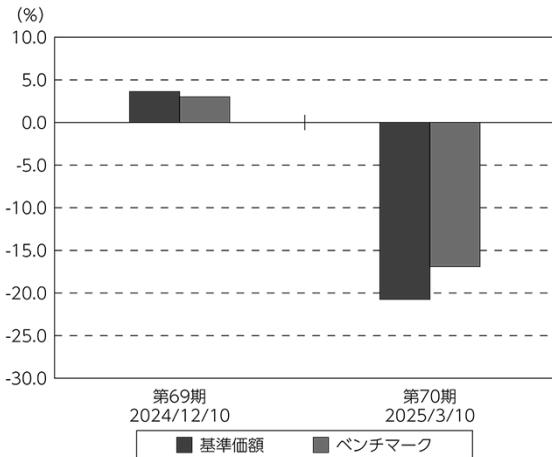
＜プラス要因＞

オーバーウェイトにしている金融サービスのSBIカード&ペイメント・サービスズにおいて、延滞率が改善される兆候があり、主要事業が堅調に成長しているとみられること、ICICI銀行については預金の堅調な増加が貸出の成長を支えるとともに、良好なコスト管理がみられ、決算内容が市場予想を上回ったことなどから、各々、株価の騰落率がベンチマーク指数を上回り、プラス寄与となりました。

＜マイナス要因＞

オーバーウェイトにしていた運輸のデリバリーがエクスプレス便事業の成長鈍化により利益水準が市場予想を下回ったこと、不動産管理・開発のDLFについてはポジティブな見方を維持しているものの、株価が市場全体とともに下がり、足元における売り優勢の株式市場による不動産セクターへの影響が懸念されること、また非保有であった金融サービスのバージャジ・ファイナンスが非住宅ローン分野で大幅な貸出の伸びがみられたものの、その好調なパフォーマンスが反映されなかったことなどから、各々、株価の騰落率がベンチマーク指数を下回り、マイナス寄与となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 当ファンドのベンチマークは、S&P/IFC Investable India（円ベース）です。

分配金について

第69期および第70期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、第69期は350円（1万口当たり・税込み、以下同じ）、第70期は280円とさせていただきました。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第69期	第70期
	2024年9月11日～ 2024年12月10日	2024年12月11日～ 2025年3月10日
当期分配金	350	280
(対基準価額比率)	1.943%	2.000%
当期の収益	350	—
当期の収益以外	—	280
翌期繰越分配対象額	11,050	10,774

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

インド株式市場は、ここ数年大幅上昇した反動もあり、2025年に入り調整局面となっていますが、当社はインド株式に対して引き続きポジティブに見ています。最近の株式市場の調整を経てバリュエーション面での割高感が後退しつつあるうえ、インド準備銀行による利下げや流動性拡充に伴いインフラ・プロジェクトの一環の推進や不動産投資の活発化を通じて経済成長の回復が期待できることは、市場にとりプラスに働くと考えます。また今後、所得税の減税実施により消費の持ち直しが見込まれることも好材料と思われます。ただし、2024年10-12月期の企業業績はこれまでのところ強弱交錯する結果となっていることから、当面業績動向には留意が必要と考えられます。

長期的な観点では、インドの成長ストーリーの4つの柱（①消費、②製造業、③インフラ、④貯蓄から投資への動き）は不变であり、これらがインドの経済ひいては株式市場を後押しすると考えます。

<HSBC インド株式ファンド（3ヶ月決算型）>

引き続き、「HSBC インド マザーファンド」への投資を通じて、インドの株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC インド マザーファンド>

作成期初においては業種別には、住宅価格の改善や業界の統合が進み、需給のバランスが好ましい状態にある不動産、市場の反発に備え、銀行以外の金融関連企業にも分散する機会を有する金融、2024年総選挙以降の社会福祉に対する積極的な政策を背景に、堅調な成長が見込まれる一般消費財をオーバーウェイトとし、政府による規制により収益性の低下が否めない公益、リスクに見合う投資機会が見込めない素材、引き続き割高感が見られる資本財をアンダーウェイトとしています。

作成期を通じて引き続き持続的な収益成長性を有しながらバリュエーションに割安感のある銘柄を選別していきます。

○1万口当たりの費用明細

(2024年9月11日～2025年3月10日)

項目	第69期～第70期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 183	% 1.091	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(110)	(0.655)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販売会社)	(64)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(9)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	13	0.076	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(13)	(0.076)	
(c) その他の費用	812	4.835	(c)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.035)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他の)	(805)	(4.797)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合計	1,008	6.002	
作成期中の平均基準価額は、16,790円です。			

(注) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

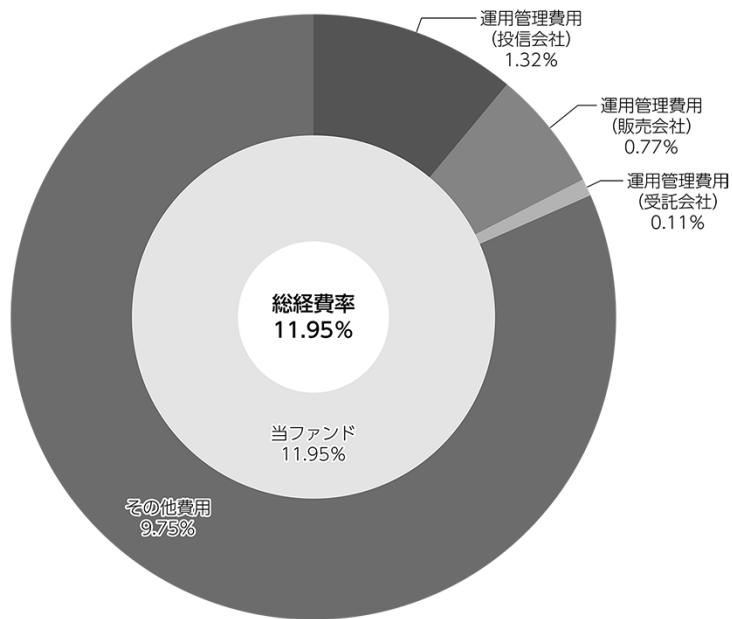
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(c)その他費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益に係るキャピタル・ゲイン課税（1万口当たり805円）を含みます。なお、このファンドが組み入れているマザーファンドにつきましては、2024年12月2日より、将来発生する可能性のあるキャピタル・ゲイン課税の支払に備えるため、税金費用の支払見込額を計上しております。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は11.95%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

なお、その他費用のうち、9.67%が現地におけるキャピタル・ゲイン課税によるものです。

○売買及び取引の状況

(2024年9月11日～2025年3月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第69期～第70期			
	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
H S B C インド マザーファンド	千口 54,638	千円 482,972	千口 113,433	千円 1,001,213

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2024年9月11日～2025年3月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第69期～第70期	
	H S B C インド マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額		53,534,003千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額		132,030,934千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		0.40

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月11日～2025年3月10日)

利害関係人との取引状況

< H S B C インド株式ファンド (3ヶ月決算型) >

該当事項はございません。

< H S B C インド マザーファンド >

区分	第69期～第70期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	百万円 2,786	百万円 2,542	% 91.2	百万円 4,467	百万円 3,986	% 89.2

平均保有割合 5.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2025年3月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第68期末		第70期末	
	口 数	口 数	評 価 額	
H S B C インド マザーファンド	千口 867, 049	千口 808, 253	千円 5, 954, 647	

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年3月10日現在)

項 目	第70期末	
	評 価 額	比 率
H S B C インド マザーファンド	千円 5, 954, 647	% 99. 9
コール・ローン等、その他	7, 141	0. 1
投資信託財産総額	5, 961, 788	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) H S B C インド マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (110, 740, 245千円) の投資信託財産総額 (116, 237, 777千円) に対する比率は95. 3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末の邦貨換算レートは、1米ドル=147. 38円、1インドルピー=1. 70円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第69期末		第70期末	
	2024年12月10日現在	円	2025年3月10日現在	円
(A) 資産				
H S B C インド マザーファンド(評価額)	7, 782, 997, 199	円	5, 961, 788, 488	円
未収入金	7, 757, 955, 672		5, 954, 647, 240	
	25, 041, 527		7, 141, 248	
(B) 負債	218, 481, 704	円	164, 181, 265	円
未払収益分配金	149, 903, 378		118, 324, 445	
未払解約金	25, 041, 527		7, 141, 248	
未払信託報酬	42, 101, 547		37, 457, 973	
その他未払費用	1, 435, 252		1, 257, 599	
(C) 純資産総額(A-B)	7, 564, 515, 495	円	5, 797, 607, 223	円
元本	4, 282, 953, 667		4, 225, 873, 066	
次期繰越損益金	3, 281, 561, 828		1, 571, 734, 157	
(D) 受益権総口数	4, 282, 953, 667口	円	4, 225, 873, 066口	円
1万口当たり基準価額(C/D)	17, 662円		13, 719円	

(注) 当ファンドの第69期首元本額は4, 313, 267, 646円、第69～70期中追加設定元本額は282, 894, 684円、第69～70期中一部解約元本額は370, 289, 264円です。

(注) また、1口当たり純資産額は、第69期1. 7662円、第70期1. 3719円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況

項	目	第69期	第70期
		2024年9月11日～ 2024年12月10日	2024年12月11日～ 2025年3月10日
(A) 有価証券売買損益		円	円
売買益	306,071,686	△1,493,990,428	
売買損	313,923,659	34,521,846	
(B) 信託報酬等	△ 7,851,973	△1,528,512,274	
(C) 当期損益金(A+B)	△ 43,536,799	△ 37,280,320	
(D) 前期繰越損益金	262,534,887	△1,531,270,748	
(E) 追加信託差損益金	2,215,926,596	2,224,987,959	
(配当等相当額)	953,003,723	996,341,391	
(売買損益相当額)	(2,404,214,303)	(2,446,341,658)	
(F) 計(C+D+E)	3,431,465,206	1,690,058,602	
(G) 収益分配金	△ 149,903,378	△ 118,324,445	
次期繰越損益金(F+G)	3,281,561,828	1,571,734,157	
追加信託差損益金	953,003,723	996,341,391	
(配当等相当額)	(2,404,322,315)	(2,446,380,323)	
(売買損益相当額)	(△1,451,318,592)	(△1,450,038,932)	
分配準備積立金	2,328,558,105	2,106,663,514	
繰越損益金	—	△1,531,270,748	

(注) (A) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第69期計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,967,053円)、費用控除後の有価証券等損益額(165,386,916円)、信託約款に規定する収益調整金(2,404,322,315円)および分配準備積立金(2,303,107,514円)より分配対象収益は4,882,783,798円(10,000口当たり11,400円)であり、うち149,903,378円(10,000口当たり350円)を分配金額としております。

(注) 第70期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,446,380,323円)および分配準備積立金(2,224,987,959円)より分配対象収益は4,671,368,282円(10,000口当たり11,054円)であり、うち118,324,445円(10,000口当たり280円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、14,465,357円です。

○分配金のお知らせ

	第69期	第70期
1万口当たり分配金(税込み)	350円	280円

△分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

△分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

△分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの部分(特別分配金)は普通分配金となります。元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

インド株式のキャピタル・ゲイン課税に対する引当金について

インド株式等への投資部分に対しては、インドの税制に従って課税されます。インドにおいては、非居住者による保有有価証券の売買益に対して保有期間に応じたキャピタル・ゲイン税等が課されます。当ファンドが組み入れているマザーファンドにつきましては、2024年12月2日より、将来発生する可能性のあるキャピタル・ゲイン課税の支払に備えるため、税金費用の支払見込額を計上しております。

○(参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2025年3月10日現在)

<HSBC インド マザーファンド>

下記は、HSBC インド マザーファンド全体(15,086,625千口)の内容です。

外国株式

銘柄	第68期末		第70期末			業種等	
	株数	株数	評価額		邦貨換算金額		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(米国)	百株	百株	千米ドル	千円			
INFOSYS LIMITED	7,186	5,878	11,674	1,720,588		ソフトウェア・サービス	
ICICI BANK LTD SPON ADR	3,279	3,701	10,307	1,519,132		銀行	
HDFC BANK LTD-ADR	860	679	4,014	591,672		銀行	
小計	11,326	10,258	25,996	3,831,393			
銘柄	株数	金額			<3.4%>		
(インド)			千インドルピー				
RELIANCE INDUSTRIES LIMITED	17,111	37,282	4,659,531	7,921,204		エネルギー	
ESCORTS LIMITED	2,349	2,015	606,817	1,031,590		資本財	
MAHINDRA & MAHINDRA LIMITED	1,943	—	—	—		自動車・自動車部品	
INDUSIND BANK LTD	5,750	5,750	538,631	915,673		銀行	
TITAN CO LTD	4,621	4,621	1,423,189	2,419,421		耐久消費財・アパレル	
OIL AND NATURAL GAS CORPORATION LIMITED	70,000	43,237	1,006,953	1,711,820		エネルギー	
GE VERNONA T&D INDIA LTD	—	1,872	266,502	453,054		資本財	
LUPIN LIMITED	5,707	2,294	465,738	791,756		医薬品・バイオテクノロジー・ライフケイエンス	
INFOSYS LIMITED	21,148	21,648	3,649,969	6,204,947		ソフトウェア・サービス	
HINDUSTAN UNILEVER LTD	4,522	1,039	229,068	389,415		家庭用品・パーソナル用品	
APOLLO HOSPITALS ENTERPRISE	2,007	1,893	1,176,732	2,000,445		ヘルスケア機器・サービス	
HCL TECHNOLOGIES LTD	4,890	9,367	1,459,408	2,480,993		ソフトウェア・サービス	
NEULAND LABORATORIES LTD	—	340	411,930	700,281		医薬品・バイオテクノロジー・ライフケイエンス	
BHARTI AIRTEL LIMITED	6,453	11,336	1,848,669	3,142,737		電気通信サービス	
SUN PHARMACEUTICALS INDUSTRIES LIMITED	15,260	14,537	2,339,550	3,977,235		医薬品・バイオテクノロジー・ライフケイエンス	
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	534	876	1,022,246	1,737,818		自動車・自動車部品	
TVS MOTOR CO LTD	2,680	2,463	574,670	976,939		自動車・自動車部品	
JINDAL STEEL & POWER LTD	19,168	15,971	1,451,752	2,467,978		素材	
JINDAL STAINLESS LTD	11,505	10,824	708,582	1,204,590		素材	
SHRIRAM FINANCE LTD	2,031	—	—	—		金融サービス	
LARSEN & TOUBRO LIMITED	10,226	8,555	2,775,915	4,719,056		資本財	
ULTRATECH CEMENT LTD	1,650	1,732	1,833,390	3,116,763		素材	
SUNDARAM FINANCE LTD	1,466	874	388,057	659,697		金融サービス	
PHOENIX MILLS LTD	3,750	5,418	845,334	1,437,068		不動産管理・開発	
GODREJ CONSUMER PRODUCTS LTD	5,000	22,130	2,313,273	3,932,565		家庭用品・パーソナル用品	
EXIDE INDUSTRIES LIMITED	26,033	26,033	926,401	1,574,882		自動車・自動車部品	
BLUE STAR LTD	460	—	—	—		資本財	
POWER FINANCE CORPORATION	—	12,953	519,566	883,263		金融サービス	
DLF LIMITED	39,499	44,835	2,990,744	5,084,264		不動産管理・開発	
ZF COMMERCIAL VEHICLE CONTROL	314	314	358,914	610,154		自動車・自動車部品	
TATA MOTORS LIMITED	10,000	7,598	492,607	837,432		自動車・自動車部品	
MULTI COMMODITY EXCHANGE OF INDIA LTD	3,853	3,343	1,559,257	2,650,737		金融サービス	
PI INDUSTRIES LIMITED	928	—	—	—		素材	
ASIAN PAINTS LIMITED	2,729	2,729	619,582	1,053,290		素材	
BHARAT ELECTRONICS LIMITED	49,868	37,941	1,050,933	1,786,587		資本財	
NIPPON LIFE INDIA ASSET MANA	—	8,802	465,600	791,521		金融サービス	
DALMIA BHARAT LTD	4,222	—	—	—		素材	
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	—	775	297,162	505,175		金融サービス	
HDFC BANK LIMITED	29,841	25,995	4,391,338	7,465,276		銀行	

銘 柄	第68期末		第70期末		業 種 等			
	株 数	株 数	評 価 額					
			外貨建金額	邦貨換算金額				
(インド)	百株	百株	千円	千円				
SBI CARDS & PAYMENT SERVICES	18,008	19,432	1,622,213	2,757,762	金融サービス			
ZOMATO LIMITED	88,357	102,936	2,231,973	3,794,354	消費者サービス			
DELHIVERY LTD	27,098	31,134	795,332	1,352,065	運輸			
JUBILANT FOODWORKS LTD	—	10,007	603,265	1,025,551	消費者サービス			
FSN E-COMMERCE VENTURES LTD	10,546	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り			
PB FINTECH LTD	11,062	10,341	1,445,594	2,457,511	保険			
AXIS BANK LIMITED	13,914	19,074	1,979,225	3,364,682	銀行			
MOTHERSON SUMI WIRING INDIA	—	3,807	20,010	34,017	自動車・自動車部品			
TBO TEK LTD	—	1,212	165,508	281,365	消費者サービス			
CONCORD BIOTECH LTD	3,969	3,229	557,216	947,267	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス			
VARUN BEVERAGES LTD	9,614	43,395	2,116,602	3,598,224	食品・飲料・タバコ			
HYUNDAI MOTOR LTD INDIA	—	2,052	352,097	598,566	自動車・自動車部品			
SWIGGY LTD	—	27,848	1,005,179	1,708,804	消費者サービス			
STATE BANK OF INDIA	19,334	22,795	1,670,369	2,839,628	銀行			
SAI LIFE SCIENCES LTD	—	2,641	180,852	307,448	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス			
ICICI BANK LIMITED	29,509	26,482	3,216,466	5,467,992	銀行			
TECH MAHINDRA LIMITED	10,894	5,628	839,939	1,427,896	ソフトウェア・サービス			
ZYDUS LIFESCIENCES LTD	8,000	1,448	130,439	221,747	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス			
AVENUE SUPERMARTS LIMITED	1,300	—	—	—	生活必需品流通・小売り			
SBI LIFE INSURANCE COMPANY LIMITED	1,149	—	—	—	保険			
小計	株 数	・	金 額	640,294	730,874	64,600,313	109,820,532	
	銘柄	数	<比率>	48	51	<98.8%>		
合計	株 数	・	金 額	651,621	741,133	—	113,651,925	
	銘柄	数	<比率>	51	54	<102.3%>		

(注) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 一印は組み入れなし。

(注) 業種等は、世界産業分類基準（G I C S®）に基づく業種名を採用しております。

(注) 銘柄コードの変更があった場合は、別銘柄として掲載しています。

◆親投資信託「H S B C インド マザーファンド」の運用状況
第20期（2023年11月30日～2024年11月29日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にインドの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。S&P/IFC Investable India (円ベース) をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。
主要運用対象	主にインドの証券取引所に上場している株式等に投資します。
組入制限	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	S & P / I F C Investable India (円ベース)		株組入比率	株式先物比率	純資産額
		期騰落率	中率			
16期(2020年11月30日)	円 32,591	△ 4.7	% 50,146	% 1.7	% 96.6	% 63,150
17期(2021年11月29日)	50,028	53.5	76,369	52.3	96.4	69,669
18期(2022年11月29日)	58,846	17.6	91,906	20.3	97.5	71,424
19期(2023年11月29日)	68,565	16.5	107,665	17.1	96.4	91,861
20期(2024年11月29日)	89,612	30.7	140,700	30.7	96.5	139,343

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。(以下同じ。)

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 組入資産には、Participatory Note (P-Note) が含まれる場合があります。P-Noteとは、現地国での外貨投資制限を避けるために、非居住者に対してブローカー（銀行、証券会社等）が発行する未上場証券であり、金融商品取引法第2条第1項第19号に規定する有価証券「オプションを表示する証券または証書」に分類されます。また、P-Noteは、現地国の特定の株式の価格に連動するため、「株式組入比率」に含めて表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

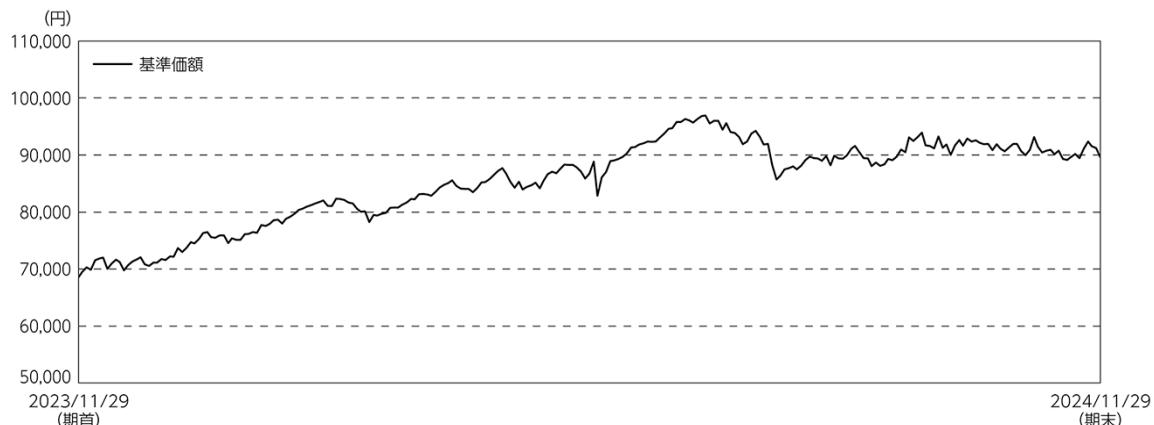
年 月 日	基 準 価 額	S & P / I F C Investable India (円 ベ ー ス) (ベンチマーク)		株組入比率	株先物比率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2023年11月29日	円 68,565	% —	% 107,665	% —	% 96.4
11月末	69,518	1.4	109,189	1.4	97.2
12月末	72,224	5.3	114,157	6.0	98.8
2024年1月末	76,134	11.0	120,825	12.2	96.0
2月末	81,107	18.3	126,748	17.7	95.4
3月末	82,264	20.0	128,060	18.9	96.3
4月末	87,214	27.2	137,049	27.3	95.8
5月末	85,874	25.2	137,789	28.0	96.2
6月末	94,588	38.0	152,116	41.3	96.6
7月末	93,158	35.9	149,866	39.2	95.9
8月末	89,995	31.3	143,752	33.5	94.8
9月末	91,697	33.7	146,120	35.7	96.2
10月末	91,955	34.1	145,877	35.5	97.4
(期 末) 2024年11月29日	89,612	30.7	140,700	30.7	96.5

(注) 謄落率は期首比です。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について (第20期：2023年11月30日～2024年11月29日)



基準価額の主な変動要因

当期においては、投資対象であるインドの株式市場は上昇し、基準価額の上昇の主な要因となりました。当期のベンチマークのインドルピー建てでの騰落率は+29.2%でした。また、為替においてもインドルピーが対円で1.1%の上昇となり、株式、為替ともに基準価額の上昇要因となりました。

個別銘柄では、組入上位に維持した大手民間銀行のICICI銀行の株価が39.6%の上昇となり、ファンド全体には2.3%のプラス寄与、消費者サービスのゾマトの株価が144.3%上昇し、ファンド全体には2.2%のプラス寄与、金融サービスのインド・マルチ商品取引所の株価が101.1%の上昇となり、ファンド全体には2.0%のプラス寄与となり、各々、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

【株式市況】

当期のインド株式市場では、SENSEX指数が前期末比で19.4%上昇しました。株式市場は、期初から2024年9月下旬にかけて上昇基調となりました。インフレの落ち着き、国内投資家による継続的な買い、3期目を迎えたモディ政権による政策の継続性の表明、企業の好調な利益成長率への期待などが上昇要因となりました。その後、高値警戒感、外国人投資家による利益確定の売り、全般的にやや冴えない内容となった2024年7-9月期の企業業績、インフレ再燃懸念などに伴い期末にかけて下落傾向に転じました。

【為替相場】

当期のインドルピーは円に対して前期末比で1.1%上昇しました。インドルピーは対円で、期初から2024年1月初旬にかけてやや軟調となったのち、インフレの落ち着き、インドの堅調な経済成長などにより7月上旬にかけて上昇基調に転じました。その後、日銀の追加利上げや米国の早期利下げ観測に伴う米ドル安・円高進行から9月中旬にかけて下落傾向となったものの、インド準備銀行による物価・為替重視の姿勢や、米国の堅調な経済による米ドル高・円安の流れを背景に期末にかけて上昇傾向に転じました。

原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は期首・期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

不動産、ヘルスケア、金融セクターをオーバーウェイトとしました。他方、公益事業、資本財、通信をアンダーウェイトとしました。

不動産においては、価格帯が手頃となっていることに加え、マクロ環境や住宅需要が改善されていることなどからセクターにて最大のオーバーウェイト幅を維持しました。

ヘルスケアについては、安定した収益を背景にバリュエーションに妙味があることなどから、オーバーウェイトを維持しました。

金融については、大手民間銀行において、引き続き市場シェアの拡大とデジタル化を背景とした投資機会が見られると判断し、組入上位を維持しました。

一方、公益事業は政府による規制により収益性の低下が否めないことからアンダーウェイトとしました。また、資本財はインフラ分野成長の恩恵はあるものの、割高となっていることなどから、通信はリスク調整後の期待リターンが他のセクターと比べ相対的に魅力が低いことなどからアンダーウェイトとしました。

今後の運用方針

構造改革、設備投資の増加、成長に有利な人口動態、サプライチェーンの再構築、政策の継続性などを通じて、中期的にインドの経済成長のさらなる拡大が期待出来るとともにインド企業の堅調な利益成長も見込まれることが、株式市場にとり支援材料と考えます。なお、2024年7-9月期の企業業績は原油やコモディティ価格の値上がり、一部地域の豪雨による需要への悪影響などを受けて全般的にやや冴えない結果となったものの、中長期的に堅調な業績見通しに変わりはない見ています。加えて、米国のトランプ次期政権による政策を巡る不確実性が世界的に懸念されていますが、インドの対米輸出割合は低いことから米国の関税措置に伴うインド経済ひいては株式市場への影響は限定的と考えられます。

期初においてはセクター別には、引き続き住宅価格の上昇や業界再編の恩恵が期待される不動産、市場の仲介を担う企業を中心とした金融、社会福祉に関する政策の追い風を受けると考えられる生活必需品をオーバーウェイトとする一方、小売価格設定が実質的に政府の管理下にあり収益性に影響を及ぼす可能性がある公益、リスク調整後の魅力的なリターンが期待できる機会を模索中の資本財、世界的に需要への逆風が予想される情報技術をアンダーウェイトとしています。

期を通じて引き続き持続的な収益成長性を有しながらバリュエーションに割安感のある銘柄を選別していきます。

○1万口当たりの費用明細

(2023年11月30日～2024年11月29日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 92 (92)	% 0.109 (0.109)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他の費用 (保管費用) (その他)	1,280 (62) (1,219)	1.513 (0.073) (1.440)	(b) その他の費用＝期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	1,372	1.622	
期中の平均基準価額は、84,644円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(b) その他の費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益にかかるキャピタル・ゲイン課税(1万口当たり1,218円)を含みます。

○売買及び取引の状況

(2023年11月30日～2024年11月29日)

株式

外 国	米国 インド	買付		売付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
		百株 8,596	千米ドル 18,291	百株 919	千米ドル 2,107
		320,325 (46,898)	千インドルピー ^一 23,196,191 (4,212,422)	109,568 (9,614)	千インドルピー ^一 15,803,070 (4,212,422)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年11月30日～2024年11月29日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	73,939,128千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	120,787,171千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.61

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月30日～2024年11月29日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 19,711	百万円 16,903	85.8	百万円 2,392	百万円 2,392	100.0

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2024年11月29日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(米国)						
INFOSYS LIMITED	百株	百株	千米ドル	千円		
ICICI BANK LTD SPON ADR	—	6,500	14,781	2,228,101	ソフトウェア・サービス	
HDFC BANK LTD-ADR	2,644	3,279	10,124	1,526,226	銀行	
	319	860	5,807	875,411	銀行	
小計	2,963	10,640	30,713	4,629,740		
銘柄	株数	・金額				
	銘柄	株数	比	率	<3.3%>	
(インド)						
RELIANCE INDUSTRIES LIMITED	15,000	38,783	4,928,563	8,822,129	エネルギー	
ESCORTS LIMITED	—	2,349	825,415	1,477,494	資本財	
MAHINDRA & MAHINDRA LIMITED	4,000	647	187,783	336,132	自動車・自動車部品	
INDUSIND BANK LTD	5,750	5,750	571,320	1,022,662	銀行	
TITAN CO LTD	3,800	4,621	1,484,658	2,657,538	耐久消費財・アパレル	
OIL AND NATURAL GAS CORPORATION LIMITED	60,000	71,620	1,806,273	3,233,230	エネルギー	
GE VERNONA T&D INDIA LTD	—	1,922	336,585	602,487	資本財	
LUPIN LIMITED	6,000	4,558	910,914	1,630,537	医薬品・バイオテクノロジー・ライフケイエンス	
INFOSYS LIMITED	20,500	21,148	3,926,610	7,028,632	ソフトウェア・サービス	
HINDUSTAN UNILEVER LTD	4,136	5,216	1,284,325	2,298,942	家庭用品・パーソナル用品	
APOLLO HOSPITALS ENTERPRISE	1,250	2,007	1,373,686	2,458,898	ヘルスケア機器・サービス	
HCL TECHNOLOGIES LTD	5,500	2,861	526,850	943,063	ソフトウェア・サービス	
BHARTI AIRTEL LIMITED	1,000	8,386	1,308,648	2,342,480	電気通信サービス	
SUN PHARMACEUTICALS INDUSTRIES LIMITED	15,260	14,537	2,521,198	4,512,946	医薬品・バイオテクノロジー・ライフケイエンス	
DIVI'S LABORATORIES LTD	—	147	87,949	157,430	医薬品・バイオテクノロジー・ライフケイエンス	
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	1,100	809	886,543	1,586,913	自動車・自動車部品	
TVS MOTOR CO LTD	2,000	2,680	647,541	1,159,098	自動車・自動車部品	
JINDAL STEEL & POWER LTD	18,500	19,168	1,719,370	3,077,673	素材	
JINDAL STAINLESS LTD	—	12,245	852,296	1,525,610	素材	
SHRIRAM FINANCE LTD	6,000	2,031	618,245	1,106,659	金融サービス	
LARSEN & TOUBRO LIMITED	9,378	8,373	3,069,726	5,494,810	資本財	
ULTRATECH CEMENT LTD	1,550	1,650	1,814,637	3,248,200	素材	
TATA CONSULTANCY SVS LTD	2,978	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
SUNDARAM FINANCE LTD	—	1,466	599,697	1,073,458	金融サービス	
PHOENIX MILLS LTD	3,750	7,500	1,268,962	2,271,442	不動産管理・開発	
UNITED BREWERIES LIMITED	872	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
GODREJ CONSUMER PRODUCTS LTD	5,515	12,264	1,534,573	2,746,885	家庭用品・パーソナル用品	
EXIDE INDUSTRIES LIMITED	—	26,033	1,189,860	2,129,850	自動車・自動車部品	
BLUE STAR LTD	4,828	—	—	—	資本財	
POWER FINANCE CORPORATION	—	9,406	464,670	831,760	金融サービス	
DLF LIMITED	31,000	39,499	3,214,639	5,754,204	不動産管理・開発	
ZF COMMERCIAL VEHICLE CONTROL	—	314	392,733	702,992	自動車・自動車部品	
TATA MOTORS LIMITED	10,000	8,941	696,944	1,247,530	自動車・自動車部品	
MULTI COMMODITY EXCHANGE OF INDIA LTD	3,650	3,343	2,040,535	3,652,558	金融サービス	
PI INDUSTRIES LIMITED	2,100	720	291,326	521,474	素材	
ASIAN PAINTS LIMITED	2,750	2,729	670,909	1,200,928	素材	
BHARAT ELECTRONICS LIMITED	39,704	41,697	1,274,901	2,282,073	資本財	
DALMIA BHARAT LTD	4,000	4,202	764,528	1,368,505	素材	
HDFC BANK LIMITED	27,820	29,841	5,350,949	9,578,199	銀行	
SBI CARDS & PAYMENT SERVICES	10,741	18,358	1,306,952	2,339,444	金融サービス	
ZOMATO LIMITED	60,000	84,196	2,409,119	4,312,323	消費者サービス	
KALYAN JEWELLERS INDIA LTD	277	—	—	—	耐久消費財・アパレル	

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等
		株数	株数	評価額	邦貨換算額	
		外貨建金額	邦貨換算金額			
(インド)	百株	百株	千円			
DELHIVERY LTD	—	27,787	954,080	1,707,804		運輸
JUBILANT FOODWORKS LTD	—	10,689	686,557	1,228,938		消費者サービス
FSN E-COMMERCE VENTURES LTD	6,701	6,327	110,111	197,099		一般消費財・サービス流通・小売
PB FINTECH LTD	—	10,335	1,941,832	3,475,880		保険
AXIS BANK LIMITED	18,000	13,103	1,483,971	2,656,308		銀行
MOTHERSON SUMI WIRING INDIA	—	34,821	222,193	397,725		自動車・自動車部品
CONCORD BIOTECH LTD	4,626	3,866	786,342	1,407,552		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MANKIND PHARMA LTD	2,057	—	—	—		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VARUN BEVERAGES LTD	—	42,007	2,649,388	4,742,405		食品・飲料・タバコ
HYUNDAI MOTOR LTD INDIA	—	2,052	390,532	699,052		自動車・自動車部品
SWIGGY LTD	—	12,422	610,561	1,092,904		消費者サービス
STATE BANK OF INDIA	25,987	20,751	1,740,752	3,115,947		銀行
ICICI BANK LIMITED	28,000	28,212	3,629,129	6,496,141		銀行
TECH MAHINDRA LIMITED	5,000	7,246	1,241,618	2,222,497		ソフトウェア・サービス
ZYDUS LIFESCIENCES LTD	8,000	5,643	535,367	958,307		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AVENUE SUPERMARTS LIMITED	1,300	1,127	418,899	749,830		生活必需品流通・小売
UNITED SPIRITS LIMITED	3,000	—	—	—		食品・飲料・タバコ
SBI LIFE INSURANCE COMPANY LIMITED	7,000	—	—	—		保険
小計	株数・金額	500,387	748,428	72,561,789	129,885,602	
	銘柄数 <比率>	45	53	<93.2%>		
合計	株数・金額	503,350	759,069	—	134,515,343	
	銘柄数 <比率>	47	56	<96.5%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄のく >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 一印は組み入れなし。

(注) 業種等は、世界産業分類基準（GICS®）に基づく業種名を採用しております。

(注) 銘柄コードの変更があった場合は、別銘柄として掲載しています。

○投資信託財産の構成

(2024年11月29日現在)

項目	当期末		%
	評価額	比率	
株式	千円	95.5	
コール・ローン等、その他	6,371,477	4.5	
投資信託財産総額	140,886,820	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産（136,749,004千円）の投資信託財産総額（140,886,820千円）に対する比率は97.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものであります。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=150.74円、1インドルピー=1.79円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月29日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	140,886,820,822
株式(評価額)	6,217,536,697
未収入金	134,515,343,040
未収配当金	44,612,876
未収利息	109,315,597
	12,612
(B) 負債	1,543,573,273
未払金	1,259,907,395
未払解約金	283,665,878
(C) 純資産額(A-B)	139,343,247,549
元本	15,549,595,224
次期繰越損益金	123,793,652,325
(D) 受益権総口数	15,549,595,224口
1万口当たり基準価額(C/D)	89,612円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※注記事項

※期首元本額	13,397,693,042円
期中追加設定元本額	5,234,333,443円
期中一部解約元本額	3,082,431,261円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額
 HSBC インド オープン 14,709,928,619円
 HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型) 839,666,605円

○お知らせ

約款変更について

2023年12月8日付

少額投資非課税制度の改正に伴い、デリバティブ取引の使用をヘッジ目的に限定する変更を行いました。

○損益の状況 (2023年11月30日～2024年11月29日)

項目	当期末
(A) 配当等収益	円
受取配当金	942,599,196
受取利息	939,550,075
その他収益金	3,181,834
支払利息	86,345
	△ 219,058
(B) 有価証券売買損益	30,101,600,616
売買益	32,136,427,356
売買損	△ 2,034,826,740
(C) 保管費用等	△ 1,852,949,681
(D) 当期損益金(A+B+C)	29,191,250,131
(E) 前期繰越損益金	78,463,433,041
(F) 追加信託差損益金	38,774,053,124
(G) 解約差損益金	△ 22,635,083,971
(H) 計(D+E+F+G)	123,793,652,325
次期繰越損益金(H)	123,793,652,325

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。